



ニュースレター あすか

2013
7月号

通算 244 号

2013年7月10日

平成25年 第13回 医療法人あすか 研修会

テーマ・・・『Change & Challenge』

～あすかの介護観を創造する～

日時・・・平成25年6月30日(日)

場所・・・西区民文化センター

医療法人あすか恒例の『あすか研修会』を6月30日(日)西区民文化センターで開催しました。この研修会は当日の勤務者を除き、事業所や職域職種を越えて職員が一堂に会する、医療法人あすかにとって大切な行事の一つです。今年には12名が参加しました。

今年のテーマは、「チェンジ(変化・進化) & チャレンジ(挑戦)」です。このテーマにした理由は2つあります。

1つ目は、あすかの職員が、またそれぞれの事業所が取り組んだ「チャレンジと挑戦」と挑戦のために行った「チェンジと変化・進化」を職員全体で共有することにあります。

2つ目は、法人としてこれからの変化・進化と挑戦を行い続けるという意味も込めました。

***各事業所の実践報告**

昨年の研修会から今日までの実践について各事業所での実践報告を行いました。前回までは全16題をステージ上で1つひとつ発表していましたが、今回からは、新たにポスター発表を加え、実践報告を行いました。

●口述発表(6題)

口述発表の6題はじっくり討議し、特に法人全体で共有していきたい内容について報告がありました。各事業所それぞれ発表の内容をよりわかりやすくするために、視覚的にも理解が進むよう工夫(パワーポイント)がなされていました。

◇まやるちよーく：通所に行く計画があるけれど、出かけることに気乗りがしない方、利用を断念されそうな方について、「一歩出かけてみようか」と思っていただけまで行った実践経過報告とともに、個別の利用者様のニーズに合わせて必要な時に必要な関わりができるよう、従来の業務の流れにこだわることのない業務改善の経過についても報告がありました。

◇すてつぷ：ある利用者様の「庭園に食べ物を植えて食べよう」という提案から始まった経過等を通して、主体的な目標に向けたリハビリについての報告がありました。そのなかで、リハビリの先には思い・夢があること、その人の本心に好きな事、やりたい事はリハビリでは出来ない事も可能にすること、何よりその人その人の思いを大切にしたい目標設定を行うこと

(次のページへ続く)

“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか
(編集：新宅 佳那子)

住所：〒731-0103
広島市安佐南区
緑井2丁目12-25
TEL:082-879-3143
FAX:082-879-3190



当法人は、
ISO9001の認証施設です

【目次】

【目次】	【ページ】
1. あすか研修会のご報告	1
あすか研修会のご報告(続き)	2
2. 事業所だより(まやる、つどい)	3
事業所だより(みどりい、いわや・野の花)	4
3. 園芸療法	5
4. 作品紹介(しゅりあ)	
5. わたしの好きなもの 第2回①	6
6. わたしの好きなもの 第2回②	7
7. 若竹句会 6月作品抄	8

(前のページより続き)
 など提言がなされ
 ました。

◇つどいの家…今年から取り組んでい
 る「遊びりテシヨ
 ン」(「遊び」の特
 性を活かしたりハビ
 リテーション(二生



活の再建)という造語)を継続的に実践
 した経過を通して、導入の経緯や実際の
 流れ、実践上の工夫点、座位姿勢の改
 善など見えてきた効果や残された課題に
 ついて報告がありました。遊びりテシヨ
 ンを軸として生活のリズムや体力の向上、
 水分摂取や食事場面の改善、人間関係
 の拡大につながっていきけるよう、今後ま
 ますの実践が待たれるところです。

◇シヨートみどりい…あすか介護・五ヶ
 条にも挙げられる「気持ちよかった、入
 浴」に向けた具体化な取り組みの報告で
 した。安全・安心に向けた道具の見直し
 と介護技術の学習を柱とした実践でした
 が、本年度導入された「アクアムーブ
 (移動式入浴台)の使用によって「気持ち
 よかった」という思いが残った入浴につな
 がった事例が印象的でした。

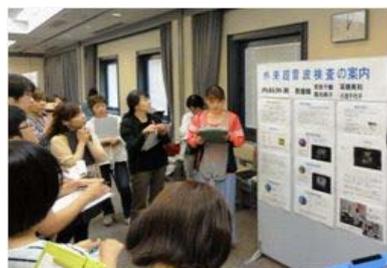
◇シヨートステイいわや…食事の後に
 「おいしかった」という満足が最終的に残
 るよう、献立以外の「食事環境の工夫」
 について報告がありました。人がおいしい
 と感じる条件を提案したうえで、パンバイ

キングや週に一度のお寿司の日。適切
 な机とイスの使用による姿勢の改善。
 好きな人と食べる工夫例など主体的な
 実践例の報告がありました。

◇小児科外来…予防接種の際、子ど
 もが急に診察室に入つて、訳も分からず
 泣いて暴れてしまうという問題に対して、
 予防接種の意味理解を通して、保護者
 も子どもも安心してワクチンを受けるこ
 とができるような取り組み(プレパレ
 シヨン)の報告でした。予防接種の意味
 理解を深める「紙芝居」等を用いた実践
 の中で、プレパレシヨンが実際に予防
 接種への不安軽減につながったことにつ
 いて、調査検証がなされ、最後には、「泣
 き声のない小児科を目指す」との抱負
 も述べられた発表でした。

●ポスター発表(10題)

今年から、
 発表がよりディ
 スカシヨンにつ
 ながるよう、ポ
 スター発表を取
 り入れました。
 写真のように発
 表する人と聴く
 人の距離がとて
 も近く、何より自分が聴きたいところへ
 聴きに行くことができます。紙面の都合
 上それぞれに触れることはできません
 が、初めてにもかかわらず、とても活
 気のある発表場面となりました。



*特別講演

「新しい価値観の創造」

～豊かさや幸せを具体化する～

【講師…介護総合研究所 元気の素

代表 上野文規 先生】

上野先生は、「しゅありちよーく」の
 浴室とトイレなどの改修にあたり監修に
 携わっていただいた先生です。この秋に
 は、満を持して監修いただいた環境での
 介護実技をご指導いただく予定です
 が、あすか研修会では、設備や介護
 技術の背景にあるものの考え方や価値
 観について、いくつもの提言をしてい
 だきました。

「みんなで幸せになろう！」これは先
 生の大きなメッセージです。介護する
 側とされる側とか、在宅とか施設と
 か関係なく、「みんなが」幸せになるた
 めにという価値観を3時間にわたって講
 演いただいたように感じました。

健康で「できること」がたくさんある
 というのは「幸せ」の要素ですが、これ
 では「健康とは言えずできることが減つ
 ていく(すなわち年を重ねていく)」「こ
 とが、幸せとは対極となるということ」に
 なります。このような価値観では、人
 の幸せは押し測れません。私たちは
 「幸せと豊かさ(二)ともに生きともに輝
 くに通じます)」を目標としています。
 改めて社是を捉え直すとともに、改め
 て「価値観」を再考していく必要性を
 強く感じました。

価値観を再考する、創造するとい
 うことは、すなわち「自らに変化を
 課題とし、挑戦する」ことに他あり
 ません。

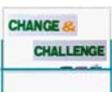
「変化を恐れて停滞することなく、
 まずは行動すること。進化のために
 検証を重ね、具体的に高い目標を
 持つてすすむこと。そして現場が具
 体的に成果を形に表すこと」

人の生涯に携わらせていただくこの
 仕事の重みを、まさに「言葉」とし
 て残してくださいました。それ故、
 厳しい言葉もありましたが、わたし
 は、医療法人あすかと職員一人ひと
 りへのエールとして感じました。

1984年に高橋小児科としてスタ
 トし、来年で奇しくも30周年を迎えま
 す。

社会はめまぐるしく変わっています。
 そして地域医療や介護を取り巻く環境
 も変化しています。しかしながら、「人
 の幸せと豊かさ」を具体化することがわ
 たしたちの使命であることは変わり得ま
 せん。みんなで知恵をしぼり、創意工
 夫し続けていくこと、「ともに生き、と
 もに輝く」社会の実現に向けた進化・
 成長は、すぐに「今」から求められて
 います。

(介護事業部部長 保田 和彦)



新緑の歌声コンサート♪

まやるまよーく

6月10日(月)に毎年恒例の緑井小学校PTAのコーラスグループ『ゴールドルチエ』の方々による、「新緑の歌声コンサート」が開かれました。『365歩のマーチ』から始まり、その後、「もしもし亀よ〜♪」の歌とともにうさぎと亀が現れ、劇を交えながらの楽しい歌声が響き渡りました。利用者の皆様も美しい歌声や、楽器の音色に聴き入っておられました。『愛して愛して愛しちゃったのよ』では男性職員を交



えてのお色気たっぷり!?のステージでした。

コールドルチエの皆様、素敵な時間をありがとうございました!!
(由布紀子)



カレーパーティーに菜の花学園

ごじの家

5月吉日、菜の花学園のカレーパーティーの招待状を、今年も園長先生が届けてくださいました。



楽しみにしていたパーティー当日。晴れの日が続いて、園児さんたちが外で元氣よく遊べますようにと、利用者様と職員で作った大きなてるてる坊主をおみやげに、幼稚園へ出発しました。

到着し、遊戯室に案内され園児さんが入場してくると、「わあ〜可愛いね〜」と涙ぐまれる田中様…。「園児たちと一緒に踊りませんか?」と声を掛けられ、笑顔で楽しそうに踊られる井上様…。

お遊戯のあとは、待ちに待ったカ



レーパーティーです。美味しそう

なカレーが並べられたテーブルの席に着かれると、みなさん待ちきれない様子でした。園

児さんと保護者のみなさんが心をこめて作ってくださったカレーを、とても美味しくいただきました。

「楽しかったね、また行きたいね」と皆さん喜んでおられました。

招待して下さった菜の花学園のみなさん、ありがとうございました。

(向井明子)



神楽〜伊吹山〜ショートダンス

ショートステイみどり恒例の神楽公演に『綾西神楽団』の方々に来ていただきました。

今年の演目は【伊吹山】でした。会場では、それぞれにおしゃべりしながら、開幕を今か今かと楽しみに待ちました。お囃子の音が鳴ると一斉に神楽の舞台に引き込まれていきました。

間近で見ると、お囃子のリズムに乗り力強くも繊細で可憐でした。利用者様の瞳も釘付けとなり、自然と拍手や手拍子が起こりました。

感動で嬉し涙を流す方や、「今年もよかつたよー」「毎年楽しみにしてる。元気がもたえてうれしいよ。」との声がいっぱいでした。「来年も楽しみだね。今度はいつ見られるの?」と早くも来年の公演を楽しみにされていました。心を元気に楽しくする素敵な時間を過ごすことができました。



できました。

綾西神楽団の皆様ありがとうございました。(藤野舞)

演目【伊吹山】のあらすじ

日本武尊は、九州熊襲武を討ち、西の国を従えた。休む間もなく東の国の戦いは続いた。その途中、相模の国走水で海難に遭うが武の後、弟橘姫が海神の怒りを静めようと海中へ身投げし、尊の危難を救う。降り懸かる災いに、悲しい物語を残しながらも数々の国を治め、最後の戦いの場、伊吹山へと舞台を進める。邪神の猛毒に犯されながらも激戦の末これを討ち取る。

命を果した、大和への道のりをたどり始めるもすでに遅く、武は鬼神の毒牙によりその生涯に幕を



オカリナ de ハッピーバースデー

ショートイワ

5月27日は、山崎久枝様の83歳の誕生日でした。歌の大好きな山崎様のために、オカリナ演奏グループ《風》のコンサートを企画しました。デイサービス野の花をご利用の「主人も一緒にお祝いをしてくださいました。なんと総勢60人以上の大誕生日となりました。演奏会は、小学唱歌から映画音楽、クラシックとレパートリーも広く、オカリナの素朴な心地よい音色が会場内を包み込みました。みなさまうっとりとした表情で、聴き入っておられました。

また《風》の5人の方々が、『瀬戸の花嫁』の曲に合わせてフラダンスを披露してください、利用者様も立ち上がって一緒に踊りました。最後に、参加者全員で『ハッピーバースデー・久枝さん』の大合唱でお祝いをしました。利用者の方々、スタッフ、そして「主人からのおめでとう」の言葉に思わず涙ぐまれ、とても感動的な誕生日になりました。(河内拓哉)



療養センター園芸だより

暑い日が続いていますね。現在、デイサービス「野の花」では野菜がすくすくと大きく育ってきています。毎年恒例のトマト・キュウリの他に、今年は新たにナス・カボチャ・サツマイモ・ゴボウ・九条ネギの栽培に挑戦しています。「これを育ててみたい、やったことないけれど挑戦したい」という利用者様からのご希望で、花壇は沢山の野菜でいっぱいです。

水やりは利用者様の毎朝の日課となっています。「そろそろ肥料を足した方がいいんじゃないかね」「少し見ない間に大きくなったな」と我が子の成長を楽しむような、優しい眼差しを注いでくださいます。こうして一緒に植物を育て、時間を共有することが園芸療法の特徴でもあります。

先日、I・WAD環境福祉専門学校で園芸療法コース2年生の学生3名が実習に来てくれました。今回は利用者様と学生が初めての顔合わせということで、緊張を和らげるためのアイスブレイキングを行いました。植物を題材として好きな花を紹介しあい、そこから生まれてくる思い出話や自己紹介をしました。いろんな話題でとても盛り上がりました。これからも定期的に療養センターで実習をしていただきます。

【ハーブガーデンの計画】

今、療養センターの玄関入口にある花壇を、新たにハーブガーデンとして計画しています。ハーブの香りを生かすことで脳の活性化とともに、精神の安定を図ることが出来ますし、リラクセス効果や眠気覚ましとしても用いることが可能となります。園芸プログラムの幅が広がる事ももちろんです。期待していただきますね。（園芸療法士 介護福祉士 山田勝）

←写真は花壇の風景です。「よいしょー」と掛け声をあげ、立派な人参加取れました。今からどうやって調理して食べようかと皆さん笑顔で悩んでおります。



作品紹介

素敵な作品をご紹介します！



しゅりあちよーく
甲田 昇様

書道も絵画もしゅりあちよーくに来るようになってからはじめました。とても楽しいです。絵画は、素直に描くことを心掛けています。書道は、教材に応じ、頑張って書き上げていきます。



利用者様と職員で一緒に作成した、5月・6月の共同作品をご紹介します。



6月 紫陽花



5月 鯉のぼり

しゅりあちよーく

わたしの好きなもの 第二回

ここでは、利用者のみなさまに、お気に入りのものを紹介していただきます。今月は豪華2本立てです。



まやちよーく
やまもと かずこ
山本和子様

『お料理』

まやちよーくの山本和子様は、職員とお話の中でよく料理の話をしてくださいました。「結婚前には本を見て勉強しておくといひよ。旦那さんからの株も上がるよ(笑)」とアダイスも交えながら、色々教えてくださいたいです。今回は山本様より、夏にぴったりのおつまりしたすぐに出

来る一品を教えてくださいたい、一緒に作りました!



「緊張するわね・・・」と言ひながらも、慣れた手つきで包丁を使い、「調味料はさ・し・す・せ・その順番で入れるのよ。」「ちよつと味見してみてー!」と楽しく調理し、「美味しいね〜上出来!!」と美味しくいただきました。昔は、新聞の料理記事を切り抜いてノートに貼り、料理を作っていたと話され、とても勉強熱心な山本様です。私も介護の仕事頑張るりながら、山本様を見習って料理も頑張りたいと思います!!

(記者 阿川愛美)

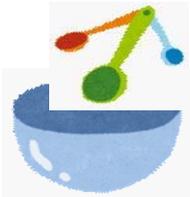
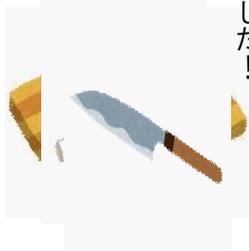
♪山本様に教えていただいたレシピを「紹介します♪
《ねぎの酢味噌和え(ぬた)》(2〜3人前)

【材料】

- *ねぎ・・・2〜3本
- *酢・味噌・砂糖・・・適量
- *あさりのむき身(缶詰)・・・適量

【作り方】

- ①ねぎを4〜5cm大に切り、茹でる。水気をとり冷蔵庫で冷ます
- ②味噌・酢・砂糖を和える(すり鉢ですり混ぜるとより混ぜるそうです☆)
- ③ねぎ・酢味噌・あさりを和え、出来上がり☆
(普通はわけぎを使うところですが、今回は手に入らなかったためねぎを使用しました。あり合せの材料で手早く、美味しく作るのが山本流です!)



わたしの好きなもの



くわいやくちあちりし
ははじめ
ごうち
河内肇様
『書道』



書道との出会い…

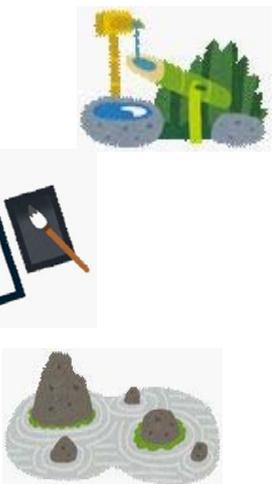
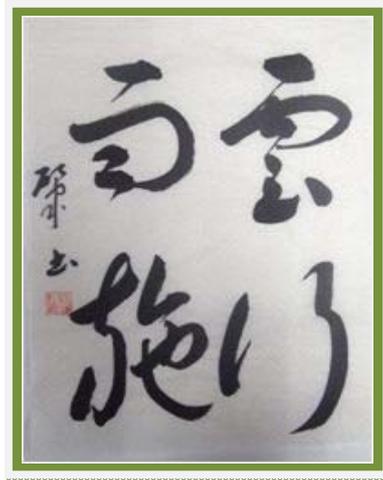
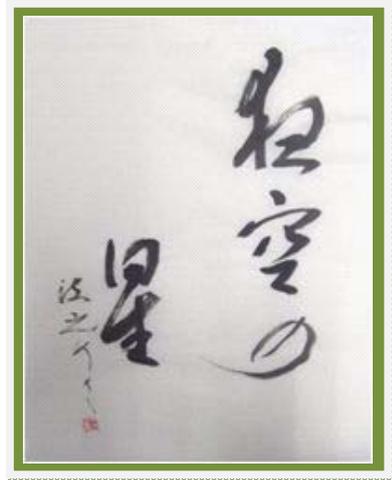
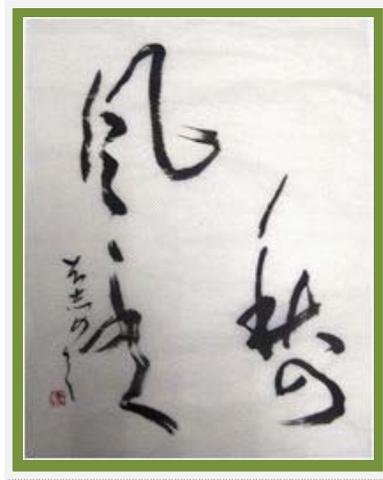
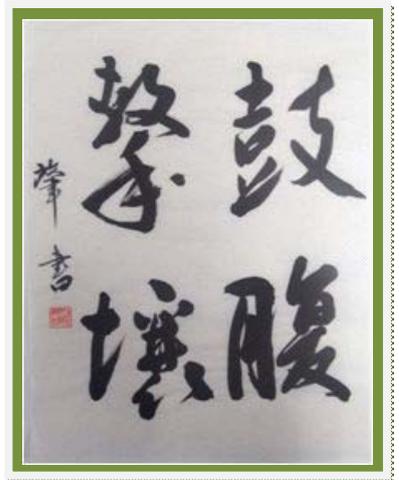
社会人一年生の暮、突然上司から「正月三が日は恒例により休業させていただきます」と云う、立看板を書く様指示があり、不安ながらも、小学生以来、何年振りかに筆を執ってみました。その看板は銀行エントランスに設置されるため、往來の人々の目に留まり、私自身も、朝夕の出退勤時、否が応でも目に留まるので、早く年が明け、撤去してほしいと思つた日々が、つい昨日の様に、今では懐かしく思い出されます。

爾來、書くことに関し、徐々に興味を持つようになり、いろいろと書に関する書籍を読み漁り、独学同然の姿で臨書に励んでいたところ、ふとある書物に目が留まりました。

所謂、書の芸術性を確固たらしめた、普遍的存在としての書聖と称される門閥貴族、王羲之の作品、あの高名な行書「永和九年…」から始まる「蘭亭序」に魅了し、今では行書を中心に大字仮名に励んでおります。

十数年前、脳梗塞を煩い、縁あつて当介護事業所にお世話になり、ご立派な指導者に恵まれ、又、同じテーブルで学ぶことの出来る素晴らしい友と語り合う幸せが、今の私には生き甲斐の一端となっております。

末筆となりましたが、関係スタッフの皆様には大変お世話になっております。厚くお礼申しあげます。



今回ニュースレターで、河内様の作品を紹介させていただけないかとお話ししたところ、快く受けていただき、作品4点と、便箋2枚にわたる想いを綴っていただきました。

独学でここまで極めていらっしゃることは、驚きです。書の想いがうかがえますね。
(記者 深川智美)

若竹句会 六月作品抄 信廣高陽 選 (平成二五年)

バラの花 寂しき心 いやされて

松村キミエ

〔寸評〕バラの花に心いやされることはよく理解できる作品だと思います。例句のように「マツチの焰」を持つてくると、句が生きてくるんですね。「俳句はもて勝負する」と言われま

す。これからは、いつしよに考えてみましょう。(例句) 薔薇よりも淋しき色にマツチの焰(ひ) 金子兜太

西 富枝

風に揺れる 新緑いっぱい 庭の木々

〔寸評〕上五にあたる導入部に、いきなり焦点を合わせ、力強い切り出しを働かせてみまし

た。倒置法の活用です。

藤の花 棚より下がる ものをいう

〔寸評〕山野に自生し、また観賞用として藤棚を作つて栽培される蔓性の落葉灌木で、晩春の日差しの中、総状花序(そうじょうかじよ)に垂れて開く。優艶(ゆうえん)な花序の長さは、晩秋を飾るにふさわしく、数十センチから一メートル数十センチの藤房をなし、風に揺れて藤浪をなすという。作者の、いつとおり、下がない藤棚に苦勞があるようです。

河野 一枝

風薫る 真紅の薔薇の 奢りかな

〔寸評〕古くからの渡来の観賞植物だが、今日ではつぎつぎに品種改良がなされ、その種類はほとんど無限といつていいほどである。色彩・形態によつて、人の好みはさまざまだが、花味き乱れたバラ園は豪華そのもの。作者をして「薔薇の奢り」といわしめている。

西 トシ子

春雨の 宮島のぞむ 花見かな

〔寸評〕この句、先月の投句は「春雨に花とゆきて宮島眺む」として、下五の字余りを承知の上で提出されたのですが、今回再度提出の機会を得、自ら修正句として出された苦勞の一句。一句の中に「や」「かな」の切れ字を同時に使うことは避けたほうがよいとされています。「春雨の」に修正しました。

後藤 義高

潮干狩り 元氣になつて 行きたいな

〔寸評〕彼岸の頃の大潮は一年中で最も満干の差が大きく、砂浜・磯浜など遠く干上がるし、またその頃から時候がよくなるので、弁当持ちでアサリ・ハマグリなどの磯物をとりに出掛けます。早く元氣になつてください。潮干狩りは春の季語です。

綿谷カツエ

花冷で 夜桜花見 先になり

〔寸評〕天候不順によるハブニングか。とかく桜の咲く頃は陽氣が変わりやすく不意に薄ら寒さが訪れることがある。順延でよかったですね。

石原 守恒

〔選者 吟〕 濁りなき 夜氣存分に 初螢

信廣 高陽

～ 医療法人あすかの経営理念 ～

『 感謝 尊厳 謙虚 誇り 』

医療法人あすかは、地域の患者様、利用者様との出会いに感謝し、信頼される法人として常に最善の医療、看護、介護を提供することを使命としています。私たちの仕事は、人の尊厳を守り、人の人生によりよい影響を与え、支えていくことです。私たちは、心を込めて仕事をします。私たちは謙虚であり、仕事に誇りを持ち、社会に貢献していくことを喜びとしています。



医療法人あすかの医療・介護関連施設

緑井3丁目20-1

あすか居宅介護支援事業所

082-1830-5177

リハビリデイ・ポシブルみどりい

あすか病児保育室

児童デイサービス ぱる

緑井2丁目12-25

高橋内科小児科医院

デイサービスセンター まやるちよーく

通所リハビリテーション すてっぷ

ショートステイ みどりい

小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

毘沙門台東1丁目24-16

デイサービスセンター しゆりあちよーく

デイサービスセンター 野ばら

あすか療養センター 緑井3丁目40-30

毘沙門クリニク

ショートステイ いわや

デイサービスセンター 野の花

【編集者のつぶやき】 梅雨が明け、いよいよ夏本番!!今年も猛暑の予感…。日焼け対策しなくちゃ!! さてさて、富士山、世界遺産登録されましたね。みなさん登ったことありますか?わたしはないんですけどね。笑。日本では17個目の世界遺産らしいです。そのうち2つが広島にあるなんて、すごいことですよ☆